水稲の生育状況と今後の管理対策（臨時号）

コシヒカリの過剰生育を防ぐため中干しを開始してください

令和３年６月４日
新潟県農林水産部

〔気象と生育の状況〕

◎　県の調査ほにおける５月 31 日時点のコシヒカリの生育は、５月４半旬以降の少照・多雨の影響により茎数は少なめでしたが、６月３日発表の１か月予報によると、５日から 11 日までの平均気温が平年より高いと見込まれており、今後、茎数が急激に増加すると予想されます。

◎　５月連休植えのコシヒカリでは、すでに中干し*1開始適期に達しており、中干し開始が遅れると昨年同様、過剰生育による著しい倒伏や、根の発達不良による収穫時の株抜けといった障害の発生が懸念されます。

*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かし、稲の生育量を適正に保つ作業のこと

〔今後の管理対策〕

◎　５月連休植えのほ場では、ただちに中干しを開始し、障害の発生につながる長草化と茎数過剰による細茎化を防いでください。

◎　田植え後 25 日を過ぎているほ場では、速やかに生育を確認し、適期を逃さずに中干しを開始してください。

◎　中干し開始の適期は、坪 50 株植えのコシヒカリでは、株あたりの茎数で 15 本程度がめやすです。

◎　昨年同様、梅雨明けが遅れ、長梅雨となる可能性も考えられることから、生育が過剰になりやすいほ場では、茎数の増加を抑えるため、強めに中干しを行ってください。

参考）中干し時期頃の稲株の状況（コシヒカリ、作物研究センター）
（左：移植後27日、茎数265本/㎡、穂数比率76%、右：移植後30日、茎数305本/㎡、穂数比率87%）

※　左は中干し開始適期、右は中干し開始の適期を過ぎている